６－４　４／４の指導計画

(1)　目　　標

扇の的の場面に表れたものの見方や考え方に触れ，登場人物の思いなどを想像することができる。

(2)　展　　開

過程	学習活動	教材 資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1　本時の目標を確認する。	学習計画表	○前時までの学習を想起させ，本時の学習の流れを確認する。	
	「人物論」を読んでよいところやアドバイスを交流し，身に付けた力について考えよう			
展開	2　書き上げた「人物論」を読み合い，グループでよいところやアドバイスを交流する。	ワークシート③ 付せん	○グループで読み合わせ，よいところやアドバイスを付せんに書き込ませる。 ○同じ人物でも捉え方が違っている場合は自分の考えと比べて感想や意見を書かせるようにする。 ○よいところやアドバイスを書いた付せんは，作品に貼って回すように指示する。	[言①]扇の的の場面に表れたものの見方や考え方に触れ，登場人物の思いなどを想像している。 【自己評価表】
	3　グループで「人物論」を発表する代表者を１名決める。		○紹介したい理由を明らかにして決めさせる。	
	4　学級で発表し合う。		○いろいろな「人物論」を聞いて考えを広げたり深めたりさせる。	
	5　自分の「人物論」に貼られた付せんを自己評価表の「よいところ」と「アドバイス」の欄に分けて貼り，さらに，付せんに書かれた内容項目ごとにまとめて貼り変えるなどして整理し，自己評価する。	自己評価表	○付せんに書かれたよいところやアドバイスを読ませ，自分の書いた「人物論」について振り返らせるようにする。	同じ登場人物について書かれた「人物論」に注目させ，何を根拠にしてどんな想像をしているかを比べさせる。
まとめ	6　単元を振り返って学習計画表に「身に付けた力」と「その力を活用できそうな場面」を記入し，学習のまとめをする。	学習計画表	○身に付いた力について考えさせる。 ○単元の学習活動について教師の評価を伝え，次の単元学習への意欲をもたせる。	